

Sound Devices 8-Series

ミキサー・レコーダーの特徴



[2020/7/8]

電源

- ・ L-Mount バッテリー2 個（運用中に片方を交換可能）。
- ・ DC10-18V で駆動（L-Mount バッテリー充電可能）。
- ・ Smart Battery のバッテリー情報を確認可能。

オーディオ入力

- ・ XLR, TA3, TA-5 入力は Mic レベルと Line レベル入力。
- ・ AES3 デジタル入口に一部の XLR に対応。
- ・ Dante オーディオネットワークに対応した Scorpio, 888。
- ・ 同じ XLR 入力を複数チャンネルで重複ルーティング可能。
- ・ MixPre シリーズと同じ 32-bit ADC 搭載。

ミキシング

- ・ L&R バス以外に複数の BUS ミックスで多彩な出力可能。
- ・ BUS (L&R 以外)送りは、Pre/Post 以外に（Pre 信号の Send レベル調整も可）。
- ・ 各チャンネルに、3-Band EQ、HPF(10-320Hz)、Delay(mS 単位)、Limiter 搭載。
- ・ 4つのフェーダーグループ機能。
- ・ オートミキサー（標準搭載の Dugan と MixAssist）で明瞭なミックス。

録音

- ・ ミックストラックは、L&R と B1,B2 トラック。
- ・ 録音中に Track Arming 変更可能。
- ・ ファイルネームは、Scene と Take 番号で管理。
- ・ テイク番号を戻せる Fales Take (HP+Rew)。
- ・ 録り逃しを防ぐ プリロールとポストロール。

COM 入出力

- ・ 収録スタッフとのコミュニケーション用にカスタマイズ可能な入出力。

ファイル管理

- ・ 4GB ファイル縛りの無い exFAT, RF64 フォーマット。
- ・ 3つのメディア(SSD, SD1, SD2) で選べる録音ソース。
- ・ WAV ファイルは Mono/Poly 選択可。
- ・ AAC 圧縮ファイルで 2tracks を SD カードに録音可。
- ・ USB-C 経由で PC にファイル転送。
- ・ Sound Report (CSV ファイル) 作成機能

Timecode と WordClock

- ・ 正確な内蔵タイムコード・ジェネレータ搭載。
- ・ オーディオクロックソースに、WordClock、LTC タイムコード、AES3 デジタル信号を利用可。

リモートコントロール

- ・ Bluetooth 通信による SD-Remote アプリ。
- ・ USB 接続でフィジカルコントローラ接続。（CL-12, CL-16, iCON M+,その他）
- ・ USB ハブを介して複数の USB デバイスを利用可能。
- ・ 市販 USB キーボードでトランスポートコントロール。

オーディオ・インターフェース

- ・ USB-C 接続によるコンピュータのオーディオ・インターフェース機能。（2in/2out のみ）

追加機能

- ・ NoiseAssist（有償プラグイン）で 2 インスタンスのノイズ・サブレスジョン。
- ・ XL-AES で AES3 デジタルオーディオ入力を拡張。
- ・ SL-2, SL-6 でワイヤレスレシーバースロットを拡張。
- ・ 8-Series 画面から SuperSlot 対応レシーバーをモニターや設定が可能。



- ・ SD-Remote for iPad
- ・ SD-Remote for Android



Scorpio & 888



CL-16 コントローラ



8-Series（スタック）